

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 12

時局宣傳資料

電力動員に就いて

部外秘

昭和十四年八月十五日
内閣情報部

●注 意

- 一、本書は時局宣傳の參考資料として主管廳に於いて起草し、内閣情報部に於いて調整の上編纂したるものなり
- 二、本書の目的は關係廳に於いて講演、座談會、新聞、雜誌、映畫等の指導及び連絡上の參考たらしむるに在るを以つて、之を死藏することなく十分に活用し、凡ゆる機會に於いて本内容の普及を圖るべきものとす、但し本書の内容は此の儘新聞雜誌等に掲載するが如きことなき様注意を要す
- 三、本書の利用に方りては、普及の對象に應じ適宜内容を取捨選擇するものとす
- 四、本書は情勢の變化に伴ひ、時々改訂せらるゝことあるを以つて、改訂版を受領せば速に新資料と差換へ、舊資料は焼却するものとす
- 五、本書は職務上利用すべきものなるを以つて、異動等の場合には後任者に引繼ぐべきものとす

目 次

一 電力動員の意義	一頁
二 電力動員の態様	三
三 整備計畫	六
四 消費規正	八
五 非常擴充	一一
六 結語	一二

電力動員に就いて

電 氣 廳

一 電力動員の意義

電力が總動員物資に屬するものであること、及び發電、送變電と配電に關する業務、並びに發電、送變電、配電等に要する原材料、機械器具、裝置其の他の物資の生産、修理、配給、輸出入又は保管に關する業務が、すべて總動員業務であることは、國家總動員法の規定する所である。

電力動員とは、戦時に際し國家總力の重要な一支柱たる電力資源を、國防目的達成のため最も有効に發揮せしむる様、人的及び物的兩面に互り、統制運用することである。

世界大戦に於いて、參戰列強が國防目的完遂上如何に電力不足に苦しみ、電力動員に就いて

力動員の困難に悩んだかは、史實の生々しく傳ふる所であり、世界大戦に於いては極めて外廓的な位置に立つに止まつた我國に於いてすら、當面した電力飢饉の苦痛は、尙ほ未だ國民關係各方面の眼前に彷彿たるものがあるであらう。而かも航空機其他の新兵器の進歩發達は、世界大戦以後に於いて飛躍的であり、電解、電爐等電氣化學工業の勃興擴大は、極めて最近の事象であることを思ふ時、現代戦争に際して電力に對する國防上の要求は、豫測せらるゝ限りの重大性を帯びるものであると云つても過言ではあるまい。然るに今日迄の所、電力が國內全土に極めて普及せられ、餘りにも日常普通の物資であるために、國民の注目關心を却つて稀薄ならしめつゝある現象は、先般の電力國家管理法論争前後の事情に照しても明らかである。

蓋し、山紫水明の祖國に潺湲として流るる清冽なる清水が、黄土泥濘の大陸の戰場に於いて、將兵の夢寐に往來するが如く、一旦總力戦が最高潮を示す重大なる時期に立到つた場合、軍需資材の生産に對する要請を緊迫焦眉の急務として受けつつも、電力飢饉のため、精密龐大なる生産設備、機械を空しく沈黙せしめ、貴重なる幾多の礦物資源の埋藏されてあるのを眼前に見て、拱手痛恨するが如き事態に陥つてから、始めて電源擴充の要務が大聲叱呼せらるることなき様切に庶幾はざるを得ないのである。

二 電力動員の態様

國防目的達成のため、最も有効に發揮せしむべき電力資源として、第一に動員せらるべきは、未開發電力資源である。總力戦の一段階として、現今強行せられつつある國家總動員態勢中、長期整備計畫が重要な總動員目標の一として、各種重要産業に互り、設定實施せられつつあることは衆知のことであるが、計畫の一部門たる電力擴充計畫も亦萬難を排

電力動員に就いて



して實行されなければならない。

今後の電力需給均衡状態に於いては、一個の発電所、一本の送電線、否一個の機械の完成遅延さへ、軍需、貿易其の他重要産業の數十數百の工場をして、生産中止を餘儀なくせしむる事態を惹起する恐るべき危険あることを思ふ時、官民各方面の眞剣なる努力を期待せざるを得ない。

睡眠資源の動員と併行して、國內現存電力設備が動員されねばならぬ。電力國家管理は、送電連繫を實現し、ワンマンコントロールの効果を達成し得ることに依つて、其の重要性を論證せられたのであるが、電力管理法第一條の發電及び送電を管理する意義は實に此處に存するのである。

現在國內主要發電設備はすべて日本發送電株式會社の送電線に連絡せられ、政府の配給司令の下に人的物的設備の統制運用の妙を發揮しつつあるが、電力動員の強化に伴ひ、電力管理權を連繫外の電力設備に對しても伸長することを要する

に至るのは、蓋し必然であらう。

例へば、自家用施設にして運轉の中止又は運轉の制限をしつゝあるもの、或は豫備施設等凡て國家總力戰の第一線に動員されなければならない。此のために、場合により各種施設の回收、徵用等が實施せられるであらう。電力供給力の擴充と既存電力設備の統制運用とは、電力動員の基礎的業務を爲すものであり、本年四月より實施せられた電力國家管理が、電力動員の支柱として、極めて有效適切なる國家的制度なることを、今更乍ら再認識せざるを得ないのである。

電力動員は、電力供給の半面に於いてのみ其の目的を達せらるゝものではない。供給の計畫性統一性に對應し、消費の半面に於ける計畫性統一性が存在しない限り、發生一瞬にして消費せらるゝ電力の物理的特性は、動員をして一切徒空に歸せしむるものであることは、説明するまでもない。電力の使用をその消費目的の國家的重要度に照合して取捨選擇し、且つその使用方法につき所在電源を極度に

合理的經濟的に運用し得る様綜合調整することに依り、電力消費に對し總動員態勢を徹底せしむること、即ち電力消費規正は電力動員の重要な半面を爲すものである。然し乍ら電力使用の廣汎なる社會的分布と、複雑多岐なる使用方法とは、此の消費規正の實行に當り、甚だ多くの困難を豫想せしむるものであり、國民各個の明確なる認識と、強固なる意志とによる日常撻むことなきは、協力を獲ち得るに非ざれば、到底その實效を收むることとは出來ない。換言するならば、電力消費規正の成功限度は、國民精神總動員の成果度合と正比例するものと云ふ事も出來よう。

六

三 整備計畫

昭和十三年を起點とし、昭和十六年を終點とする國內主要産業生産力擴充計畫の一として、電力擴充計畫が樹立決定せられて以來、遞信當局は企畫院、商工省、

内務省其の他關係官廳との緊密なる協力の下に、計畫の實施に當つて居り、又日本發送電株式會社其の他有力電氣事業者は、建設所要機器資材製造事業者と相携へ、建設の進捗に萬全の努力を盡して居る次第である。

我國が世界有数の發電水力包藏國であることは、夙に唱導せられて來た所であるが、此の發電水力開發の實際につき明確なる認識を持つ者は極めて少い。年間四季の季節的氣象變動を知得しつつも、發電水力利用水量の季節的地方的變動には、何人も注意しない。一滴の流水も貴重なる電力資源として愛惜すべきことを口にしながら、之が開發利用の實際に當り積極的熱意と協力とを示すものは極めて僅少である。

發電水力開發のためには、其の建設工事に極めて長年月を要するものであることを強調し、其の故に豫め將來を慮り、適切なる時期に之が開發に著手しなければ、一度電力飢饉の到來したとき、全く應急對處すべき手段の無い事を稱へても、

電力動員に就いて

七

兎角輕視せられるのは寔に遺憾である。火力發電に於いても、小規模小容量の火力發電所は全く過去のごとに屬し、燃料愛惜、能率向上其の他電力の經濟上大規模大容量の火力發電へと推移せる今日、所要機器機械の製作製造は極めて複雑なる工程を辿り長期間を必要とするに至つた。電力供給力の大小が一國の産業活動の質並びに量を決定するのは平時のみならず、戦時に於いても一層動かさ難き原則である。電力生産力擴充計畫の完遂如何は、單に電力の需給問題に止まらず、我が國長期建設の規模内容に互り、其の成果を決定するものである。これを思ふ時、水力火力を問はず、計畫實行の實際に當つては、全國民の熱烈なる協力が必要とし、且待望せねばならぬ次第である。

八

四 消費規正

内務省交通電力動員委員會に於いて立案せられ、本年五月二十六日の閣議に於

いて決定せられた昭和十四年度「交通電力動員實施計畫設定綱領」は、電力消費の規正につき適切なる處置を講ずることを要請してゐる。これは戦時經濟完遂の基本的原則たる資源消費節約の、電力資源に對する適用を意味するのみならず、國內電力の需給關係の實情に鑑み、總動員目的關係に對する電力の供給を確保せんがためには、今日既に他種電力需要を制限せざるを得ない段階に達したこと、並びに其の實行につき國家的強權的規正方法を發動せしむるの要ある事を表明するものである。其の具體的處置に關しては、目下當局に於いて慎重審議中であり、其の或るものについては既に實施せられてゐるのである。

電力消費規正は、概ね四つの目標を有する。即ち第一には、總動員目的達成上不急不要なる用途に對する新規需要の抑止、第二には、現在既に供給しつつあるこの種用途に對する電力供給の制限、第三には、各種電力需要の使用方法に關する時間的調整、特に尖頭負荷時に於ける使用調整、第四には、總動員目的關係電

電力動員に就いて

九

力需要に對する重點主義的選擇供給である。此の四目標に對し各、有效適切なる處置を講ずるのであるが、電力の生活必需品的性質、公共的性質よりするも、原動力乃至原材料的性質よりするも、消費規正により惹起せらるる社會的經濟的影響は、深刻且つ廣汎なるものがあり、他の國策との連關等につき甚だ複雑なる問題を内包するものであるから、政府は慎重果斷、最も有效適切なる消費規正方策を決定實施せねばならない。

他面前述せる如く、電力は極めて普及せられて居り、且つ其の使用は極めて簡便兩指を以つて足るのであつて、全國民の完全なる理解協同なくしては、殆んどその實效を收め得ざる狀況であるのみならず、電力の消費規正は概ね電力需要者たる凡ゆる營業、企業の經濟活動の制約を結果するものであり、茲に經濟的社會的問題が存在して居るのである。消費的生產的兩分野に跨がる電力消費規正の成果如何が、國民精神總動員の實績如何に繋るものなる所以は、實に此處に存するのである。

尚ほ電力需給關係の特質上、電力消費規正は他種資源の消費規正と異り、全國一律恆常的形態をとらず、地域的に季節的に其の程度、形態、方法を異にするものである。

斯くする事に依つて、國民生活、經濟活動と國防目的とに對し、其の時と所に即應しつゝ、最も適切なる方法を以つて電力消費規正を實行し得る次第である。

五 非常擴充

電力擴充に凡ゆる努力を盡し、他面に於いて電力使用の嚴正なる規正を強行しつゝも、國際的乃至國內的各種事情の急激なる轉變、或は異常事故の突發等を見たる場合に於いて、國防目的完遂に對し、時に電力の絶對的不足を惹起することなきを保し難い。斯かる事態に遭遇した場合には、如何なる犠牲を拂つて

も、國民は此の電力の絶對的不足を補填するために、必要なる方法を一致協力して講じなければならない。

發電、送變電並びに配電に要する電力設備資材、燃料、流水は固より、技術者其の他凡ゆる人的物的資源が、現用非現用を問はず、動員せられて電力國防に集注せられなければならない。

右の如き非常急迫の場合に至らずとも、國內に現存する電力供給並びに使用に關する設備機械、原材料、人員等にして不急不要用途に使用せられつゝあるものは、必要なる限度に於いて適當なる方法を以て之を電力動員に徵用參加せしむべきは當然である。斯かる限度に於ける動員は、二三現に實行せられた事例が存するが、今後は一層斯かる方途が隨時實施せられるであらう。

六 結 語

國家總動員の一分野たる電力動員の概要は以上の通りで、之が實施に當つては、政治、經濟、社會各方面に聯關すること極めて重大且つ深刻なるものあることは既に一言した所であるが、好むと好まざるとに拘はらず、之が實行は避くべからざる所であるから、問題は如何にしてその運用の妙を發揮し、最少限度の犠牲に於いて、最大限度の實績を收め得るかに在る。

實に電力動員は國內全土、全國民を通じ日常生活並びに經濟活動、社會生活の凡ゆる方面に互り完遂せらるべきものであり、而して不斷の緊張と努力に依つてのみ目的を達し得るものであることを銘記しなければならない。

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...
六、...
七、...
八、...
九、...
十、...

印刷番號 第四十二號

(本書の大きは國定規格A5判)